

元気なまちづくり 3団体選定

岩手県ではこのほど、元気なコミュニティ100選を選定しました。本市から、バッテリー村（木藤古集落）、夏井川堤の景観を創る会、大川目町まちづくり協議会が選ばれました。地域資源や特性を生かした活動をしており、その活動が地域の活性化につながっていることなどが評価されたものです。各団体の活動と今後の抱負を紹介します。

■問い合わせ まちづくり振興課（☎52-2116）

バッテリー村（木藤古集落）



バッテリー村（木藤古徳一郎村長、5世帯16人）は昭和60年に開村、村民は山形町木藤古地区の住民で組織され、独自の生活や伝統文化を発信し続けています。全国縄なし選手権大会の開催や教育旅行、岩手大学などからの合宿の受け入れなどにより、市内のみならず全国にグリーンツーリズムと交流の輪を広げています。「活動を続けてこられたのは、今まで応援してくれた全国の皆さんのおかげ。これからも、人との交流、山村文化の伝承」という開村当時の原点を忘れずに活動していきたい」と木藤古村長は、今後の活動に意欲を新たにしています。

夏井川堤の景観を創る会

夏井川堤の景観を創る会（上夏井二三男会長、会員16人）は平成7年に設立、夏井地区の景観づくりや自然環境の保全などに努めるほか、



地元の小学生に伝統の技を伝える会の皆さん

大川目町まちづくり協議会（山口健一会長、約900世帯2800人）は平成8年に設立、地域の歴史や文化を掘り起こし、次代を担う子どもたちへ伝える活動を行っています。市の地域コミュニティ振興事業補助金を受けた「田園に響くふれあい音楽祭」、久慈秋まつりへの手作り山車の奉納など、若者が積極的に参加できる活動を展開。「先人や自分たちの活動が認められうれしい。参加者が増えるよう活動を広げ、世代間交流を進めたい」と、山口会長は今後の抱負を語っています。



音楽祭では、小中学生も大人も、一流の楽団との交流を楽しみました

平成20年度から

多項目健診が変わります
特定健診
特定保健指導が始まります



医療保険者ごとに

特定健診を実施します

平成20年4月から、40歳～74歳までの方は、これまで市が実施してきた多項目健診（循環器健診）に変わり、皆さんが加入している医療保険者が実施する特定健診を受けることとなります。

特定健診では、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目して健診を行い、その結果に応じて特定保健指導を受け、生活習慣の見直しをしていくこととなります。

※医療保険者とは…市町村国民健康保険、社会保険、共済組合、健康保険組合などの方をいいます。75歳以上の方は、市と岩手県後期高齢者医療広域連合が共同で実施する後期高齢者健診を受けること

になります

健診の申し込みについて

国民健康保険に加入している40歳～74歳の方、岩手県後期高齢者医療広域連合に加入することになる75歳以上の方には、4月に市から申込票を送付します。（がん検診の申込票などと一緒を送付します）お問い合わせは、国保年金課（☎52-2118）、保健推進課（☎61-3315）へ。

※岩手県後期高齢者医療広域連合…今年の4月から始まる後期高齢者医療制度を運営する組織のこと。県内の全市町村が加入し、昨年の2月に発足しました

特定健診とは

糖尿病などの生活習慣病の予防のため、メタボリックシンドロームの早期発見につながる、腹囲の測定や悪玉（LDL）コレステロール検査などを取り入れた健診を行います。

特定保健指導とは

特定健診の結果、生活習慣の改善が必要となった方に、それぞれの状況に合わせた保健指導を行います。

あなたが受ける健診は？

- 国民健康保険の加入者は、保険者である市が健診を行います。
- 75歳以上の方は、市と岩手県後期高齢者医療広域連合が共同で実施する後期高齢者健診を受けることになります。市が健診の窓口です。
- その他の医療保険の加入者は、それぞれが加入している医療保険者（お勤め先など）に確認してください。

40歳～74歳

75歳以上

あなたの健康保険は？

国民健康保険

国民健康保険以外の医療保険

市が実施
(国保年金課)

加入している医療
保険者が実施

特定健診

市が実施
(国保年金課)

加入している医療
保険者が実施

特定保健指導

市と岩手県後期高齢者医療広域連合が共同で健診・結果説明などを実施（市が健診の窓口になります）